

原子力規制庁記者ブリーフィング

- 日時：平成30年12月14日（金）14:30～
- 場所：原子力規制委員会庁舎 記者会見室
- 対応：大熊長官官房総務課長

<本日の報告事項>

○司会 ただいまから原子力規制庁の事務方ブリーフィングを始めます。

皆様からの質問をお受けします。いつものとおり、所属とお名前をおっしゃってから、質問の方をお願いいたします。

○大熊総務課長 まず、私の方から、お手元の広報日程に基づきまして、補足して説明をさせていただきます。

まず、1. (1) 第48回原子力規制委員会臨時会議、こちらの開催について、既にお知らせをしていたところでございます。12月17日月曜日の午前中、11時からでございます。こちらについて、議題2が追加になりましたので、お知らせをいたします。

議題2は「核物質防護規定遵守義務違反について」ということございまして、核物質防護規定の違反と考えられる事案がございましたので、こちらについて報告をして、対応について審議が行われるものでございます。こちらは非公開として開催させていただきます。その内容につきましては、会議の終了後に、可能な部分について公表させていただく予定でございます。

次に、広報日程の2ページ目、12月18日火曜日、(4) 第9回維持規格の技術評価に関する検討チーム、こちらが午前中に開催される予定でございます。こちらは、維持規格の技術評価について検討してきているものでございます。今回は、2点の論点について学協会のほうから御説明をいただいて、議論を行った上で、技術評価書の案についても議論が行われる予定でございます。

次に、その下、(5) 第663回の審査会合についてでございます。こちらは4件の案件についての審査が今のところ予定をされてございます。

まず、1点目、中国電力・島根発電所2号炉についての新規制基準適合性の審査が行われる予定でございます。内容といたしましては、プラント側についての審査を再開することになりまして、準備状況全般の確認が行われる予定でございます。

次に、2点目といたしまして、東京電力・柏崎刈羽発電所6号炉、7号炉についての審査ということございまして、こちらは12月22日に設置変更許可の申請が提出されました内部溢水対策などのバックフィット対応関係についての申請につきまして、内容の説明をお聞きするという予定でございます。

次に、3点目といたしまして、東北電力・女川発電所2号炉について、こちらにも許可に

についての審査が行われる予定でございます。こちらは耐津波設計に関しまして、コメント回答の予定でございます。

最後に、4点目といたしまして、関西電力・高浜発電所1号炉から4号炉について、こちらも許可についての審査でございます。こちらは11月中旬に設置変更許可の申請がなされました個別の案件、内容は、排樹脂処理施設の共用化、共用の施設にするというものについての審査を行う予定でございます。

次に、広報日程、その下、(7) 第253回の核燃料施設等に関する審査会合についてでございます。こちらは議題として2点予定されてございます。

まず、議題1といたしまして、日本原燃株式会社の濃縮・埋設事業所につきましての設工認、こちらの審査が予定されてございます。12月に補正が提出されているということで、こちらについての説明をお聞きする予定でございます。

次に、議題2といたしまして、日本原燃のこちらは再処理施設及びMOX燃料加工施設、こちらの新規制基準適合性についての審査が予定されております。こちらは御案内のとおり、補正書が提出され、内容の確認作業を行ってきているところでございます。補正書の確認事項、修正事項などについて、また、重大事故対処についての確認事項について、これらについて説明をお聞きして、議論を行うという予定でございます。

次に、3ページ目、12月19日水曜日、(9) 第15回原子力発電所の高経年化技術評価等に係る審査会合、こちらが午後に開催の予定となっております。議題としては2件予定されております。

まず、中国電力・島根発電所2号炉、こちらの高経年化技術評価につきまして、コメント回答が行われる予定でございます。

次に、議題の2番目といたしまして、東京電力・福島第二原子力発電所2号炉の高経年化技術評価につきまして、こちらは一部見直し、一部変更の申請がなされているということで、こちらについての審査が行われる予定でございます。

次に、その下、(10) 第2回周辺モニタリング設備の現状聴取に係る会合が夕刻に開催される予定でございます。こちらは、先般12月5日の原子力規制委員会におきまして、原子力施設の周辺モニタリング設備の現状について調査した結果を報告したところでございます。そこでの審議・議論の結果を踏まえまして、今回、事業者はその結果をお伝えし、必要な対応を求めるということが予定されております。

次に、3ページ目の下段でございます。12月20日木曜日、(12) 第665回の審査会合の開催が午後に予定されております。こちらは特定重大事故等対処施設の審査のため、非公開とさせていただきます。議題、審査の対象としては、3件予定されております。

まず、四国電力・伊方発電所3号機の工認についての審査。

次に、九州電力・玄海発電所3号炉、4号炉の、こちらは許可についての審査。こちらは先般、委員会の臨時会におきまして審議が行われましたが、そちらを踏まえての審査ということになります。

次に、3件目といたしまして、関西電力・美浜発電所3号炉、こちらの設置変更許可についての審査。

いずれも特重施設についての審査が予定されているということでございます。

次に、広報日程の4ページ目でございます。上段、12月21日金曜日、(13)第666回の審査会合の開催が午前中に予定されております。こちらも特定重大事故等対処施設に係る審査ということで、非公開とさせていただきます。

議題といたしましては、記載のとおり、関西電力・美浜発電所3号炉、こちらの特定重大事故対処施設の審査のうち地震関係の部分、こちらについての審査が予定されております。津波及び地盤についての審査が行われる予定でございます。

最後に、4ページ目中段、3.、委員の現地調査の予定が1件入っております。

(1)に記載のとおり、原子力研究開発機構・人形峠環境技術センター(加工施設)の現地調査に田中知委員ほか調査に行く予定となっております。こちらの施設は、現在、廃止措置の認可に係る審査が行われているところでございまして、加工設備本体から核燃料物質が取り出されている状況、また、核燃料物質や放射性廃棄物の保管状況などについて、現地において確認を行う予定でございます。

私からの御説明は以上です。

<質疑応答>

○司会 それでは、皆様からの御質問をお受けします。いつものとおり、所属と名前をおっしゃってから質問のほうをお願いいたします。

質問のある方は手を挙げてください。では、ヨシノさん、お願いいたします。

○記者 テレビ朝日、ヨシノです。

18日火曜日の核燃料施設等の適合性の審査会合ですけれども、何か再開感があるといえますか、これは1時間ですから、今後、例えばどういう課題を持ってやっていくとか、大体どのぐらい、何回ぐらいやっていくとか、そういう規模感とか、そういうようなことを話し合うということなのでしょうか。どんな感じですか。

○大熊総務課長 今、御質問があったのは、18日の第253回の核燃料施設等の審査会合、議題が2件ございます。今の御質問は、恐らく議題2の再処理施設のほうについての御質問だというふうに承知をいたしました。

こちらは委員長の見会でも御質問をいただいております、補正書が提出されて、これまでの議論の反映状況等々、確認あるいは修正が必要な部分がありそうですと。あるいは審査に関連して、確認を求めると必要な部分がありますということをお願いしておりました。そうした点について、修正が必要な点、あるいは重大事故対処について、特に評価など説明を求めるとございまして、こういった点についての議論ということで、今の御質問に直接お答えすると、スケジュールというよりは、中身についての必要な部分の審査を、ここで議論を行うということですよ。

今後の予定については、ここでの審査・議論を行って見ないと、ちょっと今、申し上げられませんけれども、スケジュールというよりは中身の必要な部分をここで議論することです。

○司会 ほかに御質問はございますでしょうか。よろしいでしょうか。

それでは、本日のブリーフィングは以上としたいと思います。お疲れさまでした。ありがとうございます。

—了—